

## 建具情報の更新と再作成の違い（建具部材指定を使用する場合）

文書管理番号：1209-01

### Q. 質問

建具表で分割した建具をまとめたい。

プラン図で追加した建具を、作成済みの建具表に追加・反映させたい。

建具表で行う「建具情報更新」と「建具情報再作成」は何が違うのか。

### A. 回答

建具表を実行後、プラン図で建具に関する内容に変更があった場合、変更内容を建具表に反映させるには「建具情報更新」または「建具情報再作成」を行う必要があります。

「建具情報更新」と「建具情報再作成」には、以下のような違いがあります。

- **建具情報更新**

建具表を起動中に、プラン図で建具を追加・削除した場合、建具分割などの編集内容を保持したまま、建具項目・建具キーを追加します。

建具表の画面を閉じ、開き直した場合も、自動的に更新がかかります。

- **建具情報再作成**

初期設定に基づき、建具表が再作成されます。建具分割など編集した設定内容が、すべて初期化されます。

プラン図や建具表での編集内容によって、「建具情報更新」または「建具情報再作成」のいずれかを選択します。

#### 【注意】

ここでの建具入力は、建具部材指定を使用する方法で行います。



(物件概要)から、画面左下のボタンをクリックして 3/4 ページ目「建物仕様」パネルを表示し、「建具指定部材」のチェックを付けて建具の入力を行ってください。

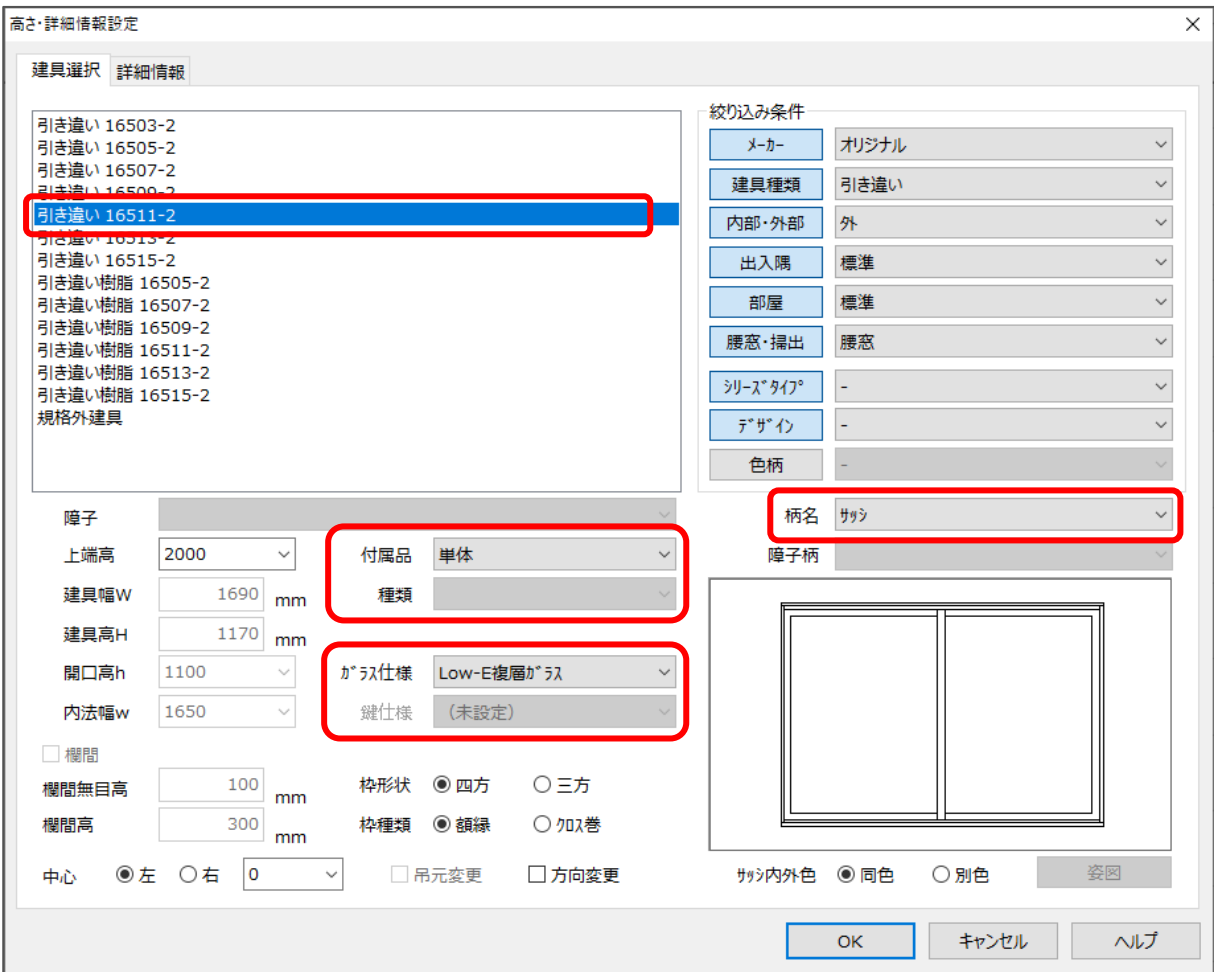
建具入力で、建具部材指定を使用しない場合は、こちらをご覧ください。

[\[1139\] 建具情報の更新と再作成の違い（建具部材指定を使用しない場合）](#)

## 事例の前提条件


- 建具表の画面を閉じ、再度開き直すと、自動的に「建具情報更新」がかかります。  
そのため、ここでは建具表を開いたまま、「建具情報更新」または「建具情報再作成」を実行することを前提として説明します。
- 説明時に「同じ内容の引き違い」とある場合は、以下のような建具を使用します。

### 【引き違い 16511-2】



プラン図で建具を配置後、配置した建具をダブルクリックして表示される「高さ・詳細情報設定」で設定します。

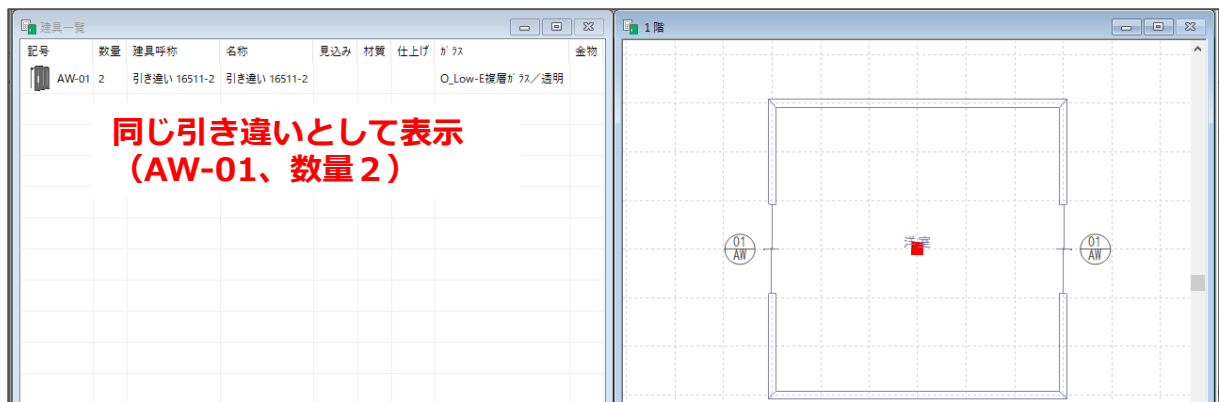
配置した建具を選択後、右クリックメニューの「高さ設定」を選択しても同様です。

 (建具種類)から選択すると、規格サイズで配置されます。

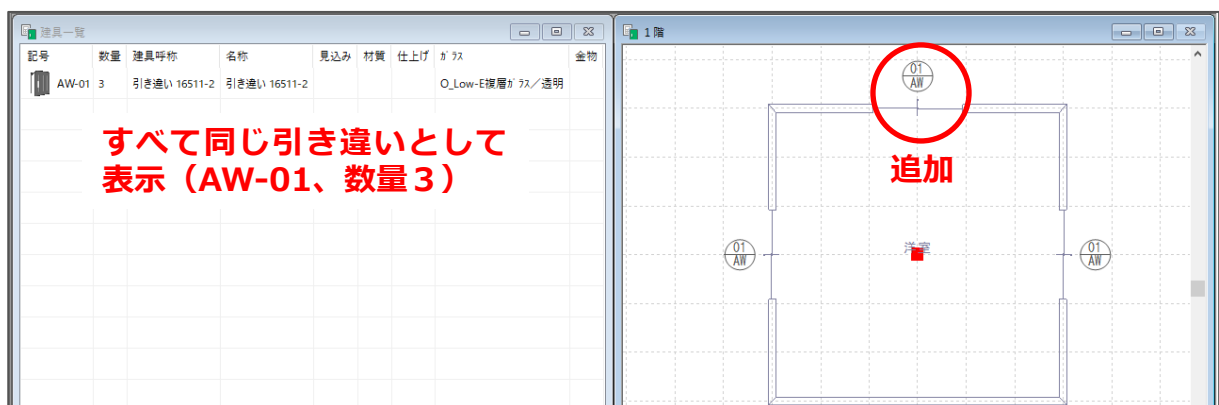
「付属品」「ガラス仕様」「柄名」については、異なるものを選択すると別の建具として認識されません。必ず同じ内容で設定してください。

## 事例①：同じ建具を追加する場合

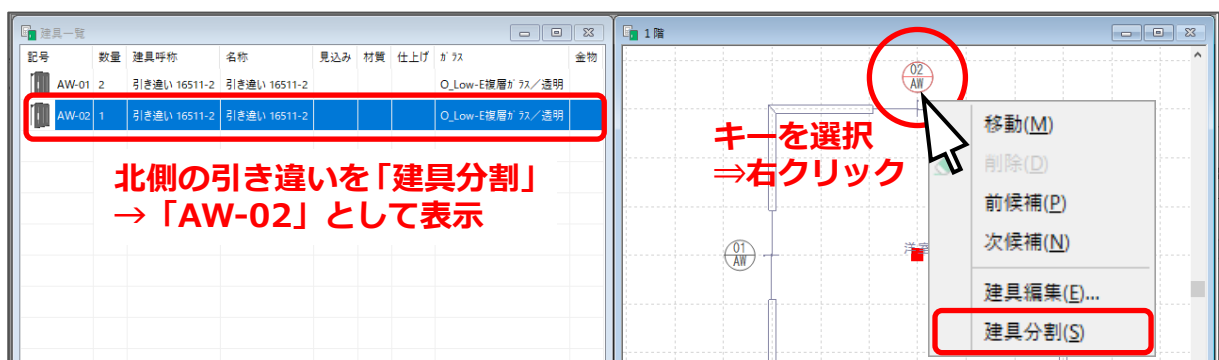
- ① (プラン図)で、P.2 の前提条件の建具「同じ内容の引き違い」を2か所に配置し、 (建具表)を起動



- ② (プラン図)で「同じ内容の引き違い」をもう1か所に配置し、 (建具表)を確認
- \* 今回の条件では、「建具情報更新」、「建具情報再作成」のどちらを実行しても、同じ結果になります。



- ③ (建具表)で引き違いの1つを、「建具分割」により番号を分ける
- \* ここでは、キープラン図上で北側の引き違いのキーを選択し、右クリックメニューの「建具分割」をクリックします。



- \* 北側の引き違いが、建具記号「AW-02」として分かれて表示されます。

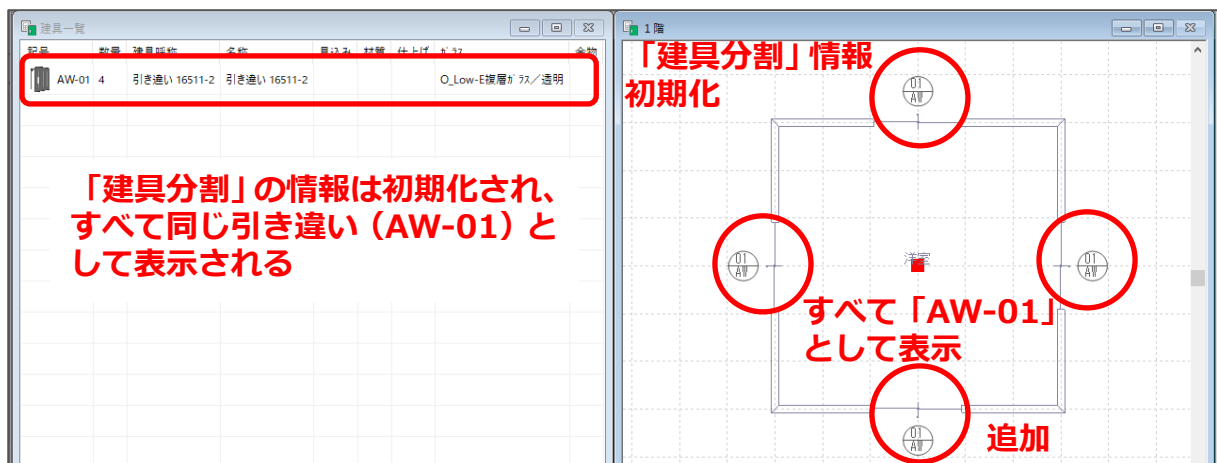
④ (プラン図)で「同じ内容の引き違い」を更に1か所追加し、 (建具表)を確認

● 建具情報更新を実行した場合



\* P.3 操作③で建具分割した「AW-02」の内容は保持し、追加した引き違いは既存の「AW-01」として追加されます。

● 建具情報再作成を実行した場合



\* P.3 操作③で建具分割した情報は初期化され、すべて「AW-01」として表示されます。

【参考】

建具表でまとめて表示されている建具を、「建具分割」を利用して、それぞれの建具ごとに分ける方法については、こちらをご覧ください。

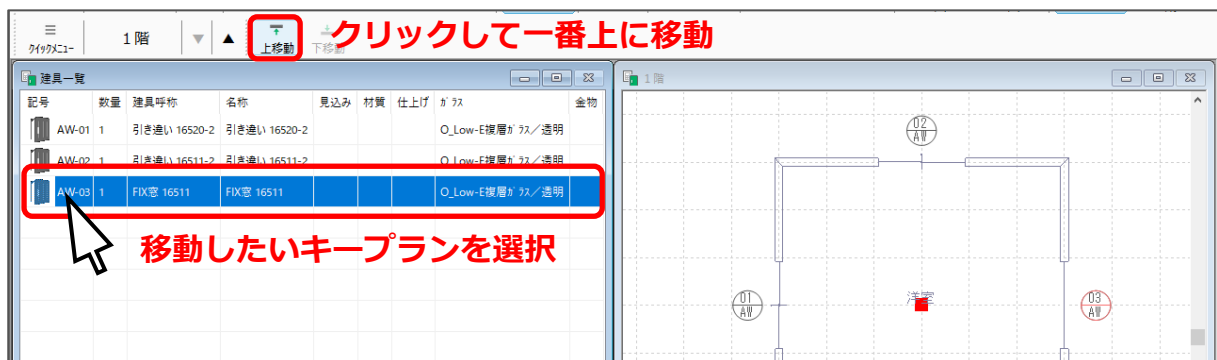
[\[1138\] 建具表での同一建具の分割方法](#)

## 事例②：配置済み建具の建具タイプ・建具サイズを変更した場合

- ① (プラン図)で、P.2 の前提条件の建具「同じ内容の引き違い」を3か所に配置し、 (建具表)を起動
  - \* すべて同じ引き違い (AW-01、数量 3) として表示されます。
- ② (プラン図)で、3か所の引き違いのうち、2つをそれぞれ変更
  - \* 1つは引き違いを削除し「FIX 窓 16511」を配置、もう1つは「高さ・詳細情報設定」で絞り込み条件を「掃出」にして「引き違い 16520-2」に変更します。
- ③ (建具表)を確認
  - \* 今回の条件では、「建具情報更新」、「建具情報再作成」のどちらを実行しても、同じ結果になります。



- ④ 建具一覧から、「AW-03」を選択し、 (上移動)で一番上に移動



- \* 建具記号の番号が「AW-03」から「AW-01」になり、「AW-01」は「AW-02」に、「AW-02」は「AW-03」に変更されます。  
(AW-01 : FIX 窓 16511、AW-02 : 引き違い 16520-2、AW-03 : 引き違い 16511-2)
- \* 建具の入力順により、建具一覧に表示される順番は異なります。

- ⑤ (プラン図)で、変更後の「AW-02」(引き違い 16520-2)と同じ引き違いを1か所追加し、  
 (建具表)を確認

● 「建具情報更新」を実行した場合

**追加した引き違いは「引き違い 16520-2」(AW-02)に追加  
 建具一覧の移動情報は保持**

**同じ引き違いとして反映**

**追加**

\* 建具一覧での移動情報は保持され、追加した引き違いは、「AW-02」として追加されます。

● 「建具情報再作成」を実行した場合

**建具一覧の移動情報が初期化され、  
 記号が変更される**

**建具記号変更**

**同じ引き違いとして反映**

**追加**

\* 追加した引き違いは、同じ内容の引き違い「引き違い 16520-2」として追加されますが、建具一覧での移動情報が初期化され、記号が変更されます。

## 参考：別々の建具として判断される条件

以下の建具情報が異なる設定の建具は、別々の建具とみなされます。

**建具種類**：建具のサイズや面材の違いを考慮

**付属品・ガラス仕様**：付属品の有無・設定内容の違いを考慮

\* ただし、次の設定は違いを考慮しない

面格子の格子種類／シャッターボックスの「電動/手動」／戸袋の「左付け/右付け」

**柄名**：建具柄の違いを考慮

### 【参考】

建具情報が異なるものを配置し、後から同じ内容に変更した場合、変更内容を反映するには「建具情報再作成」を行ってください。